



神奈川の研究者紹介

氏名	関 良明 (せき よしあき)	
現職	東京都市大学メディア情報学部 教授 博士 (情報科学)	
主な経歴	1985年 東北大学工学部通信工学科卒業、NTT入社 2013年まで電気通信大学大学院客員准教授 2014年までNTTセキュアプラットフォーム研究所勤務	
専攻分野・研究テーマ	情報セキュリティ行動支援, 知識共有ネットワーク, “つながる” にもっと安心を!	
主要業績 (これまで発表した著書、論文、行政委員の経験等)	<p>【著書】</p> <p>「ネットワークセキュリティ」共著、共立出版 (2017)</p> <p>「はじめての情報通信技術と情報セキュリティ」共著、丸善出版 (2015)</p> <p>「知的触発に向かう情報社会 -グループウェア維新-」共著、共立出版 (1994)</p> <p>【論文】</p> <p>従業員のTwitter利用における情報漏えいリスクアセスメント-投稿経験と投稿意識-, 電子情報通信学会論文誌, Vol.J97-D, No.12, pp.1709-1713 (2014)</p> <p>情報セキュリティ行動をツイートする情報共有手法の提案と受信者の情報接触行動の考察, 情報処理学会論文誌, Vol.55, No.1, pp.210-220 (2014)</p>	
神奈川県との関わり	1985年から神奈川県内に居住・勤務 2003年から神奈川県横浜市神奈川区在住	
メッセージ	<p>【関心を持っている領域】</p> <p>スマートフォンの急速な普及とSNSの世界的な拡大に伴い、インターネットを活用した簡便なツールが、情報リテラシーの乏しい利用者層へ浸透しています。特に認証機能は、利用者がその仕組みを十分理解していないと、プライバシーに関する情報を第三者に漏洩する危険があります。JSPS科研費の助成を受け、認証機能のリスクアセスメント、誤用検知技術、安全対策技術の提案と評価に取り組んでいます。</p> <p>【神奈川県との連携に期待すること】</p> <p>横浜キャンパスは、港北ニュータウンの閑静な住宅の中、緑豊かな自然に囲まれた環境にあります。本学では、誰もが快適で安全に利用できる情報システムの構築技術を探求し、より豊かな情報社会の実現を目指しています。住み働き慣れた神奈川県に貢献したいと考えています。研究室ホームページやキャンパスを是非ご覧ください。</p>	
連絡先	〒224-8551 神奈川県横浜市都筑区牛久保西3-3-1 東京都市大学 メディア情報学部情報システム学科 E-mail: seki@tcu.ac.jp URL: http://www.yc.tcu.ac.jp/~seki_lab/	

神奈川の研究者紹介

氏名	室田 昌子 (むろた まさこ)	
現職	東京都市大学環境学部環境創生学科 教授 博士 (工学・2000)	
主な経歴	1982年 三菱総合研究所社会開発部都市経営研究室 2003年 武蔵工業大学環境情報学部環境情報学科講師 2013年 東京都市大学環境学部環境創生学科教授	
専攻分野・研究テーマ	居住環境デザイン、都市計画、コミュニティ再生、まちづくり 居住環境意識・評価、空き家・空き地、郊外、住宅と緑	
主要業績 (これまで発表 した著書、論文、 行政委員の 経験等)	<p>【著書】</p> 「持続可能な都市・コミュニティへの再生：SDGsと環境教育」、学文社 (2017) 「生活の視点でとく都市計画」、彰国社 (2016) 「都市自治体と空き家一課題・対策・展望一」、日本都市センター (2015) 「東京の住宅地第4版」、日本建築学会 (2014) 「ドイツの地域再生戦略・コミュニティ・マネジメント」、学芸出版社 (2010)、ほか <p>【論文】</p> 「環境配慮型商店街の形成に向けた地域住民の参加促進要因に関する研究-川崎市登戸地区を対象として」日本建築学会計画系論文集、2017 「地区計画策定手続きの意義と実態に関する研究」日本都市計画学会論文集、2017 「駅前大型商業施設と駅前空間の滞留行動の関係性に関する研究-港北ニュータウンセンター北・南を事例として」日本建築学会計画系論文集、2017 「大型商業施設等の競争力強化手段としての地域商業地における BID の活用可能性-ドイツ・ハンブルク市での試みをもとにして」日本建築学会計画系論文集、2017 <p>【2017年時点での神奈川県内の行政委員会委員】 神奈川県総合計画審議会委員、神奈川県地方創生会議委員、神奈川県環境影響評価審査会委員、神奈川県土地利用審査会委員、横浜市公共事業評価委員会委員、横浜市地域まちづくり推進委員会副委員長、川崎市空き家対策協議会会長、相模原市環境影響評価審査会委員</p>	
神奈川県との関わり	大学が横浜市にあり、横浜市や神奈川県を対象とした調査研究を行っている。 神奈川県や横浜市・川崎市・相模原市などの行政の委員会での委員を行っている。	
メッセージ	<p>①毎年、郊外住宅地等で住民意識調査や事業者意識調査を実施しており、自治会町内会からの依頼により実施することもあります。地域の居住環境問題や持続性への懸念、空き家・空き地問題、緑化や地域魅力づくり、コミュニティ活動などの意識調査や実態調査をしたい場合があれば声をかけてください。</p> <p>②大学地元の港北ニュータウンでの研究調査、神奈川県内や東京都にある数大学と港北ニュータウン住民の研究会の事務局をしており、他の全国ニュータウンとの研究交流も行っています。ご関心があれば是非、一緒に交流等をしたいと思います。</p>	
連絡先	東京都市大学 環境学部環境創生学科 室田昌子 電話 (大学) 045-910-0104	